

KARUIZAWA ROTARY CLUB



例会日 毎週月曜日 12時30分～13時30分

例会場 軽井沢プリンスホテル ウエスト

2024-2025 RI テーマ 事務局 〒389-0112 軽井沢町中軽井沢9-3 軽井沢町商工会館内

TEL 0267-46-4970 FAX 0267-46-5445

RI会長 ステファニーA・アーチック RI2600 地区ガバナー 白鳥敬日瑚

東信第一グループガバナー補佐 夏川周介

会長 今井亮 幹事 佐藤敏明 クラブ会報委員長 佐藤俊幸

E-mail k-rotary@jfbn.net ホームページ www.karuizawarotaryclub.com



第2688例会 2025. 1. 20

12:30点鐘 会長 今井亮君 司会進行 副幹事 福井英子君
ロータリーソング「手に手つないで」ソングリーダー 袖山卓也君
ゲスト 山本裕介様、ブウオントルン デイン様
ビジター 山崎藍子君 (大阪南RC)



《会長あいさつ》 会長 今井亮君

令和7年最初の昼例会になります。6日の新春夜間例会から2週間が経ち、1月も既に3分の2が終わりましたが、みなさまいかがお過ごしだったでしょうか？私もようやく正月モードが抜けてきたといったところです。

今朝自宅にまわってきた回覧版を見てみたところ、町が発行している「防災ハンドブック」が配布されておりました。また、中にあったチラシの中で、2月2日に災害ボランティア講座が中央公民館で開かれるという案内文も入っておりました。

思えば、この間、阪神大震災から30年の慰霊際が開かれておりますし、スキーバス事故から9年が経ったということで軽井沢高校の生徒会のメンバーが現場にお花を供えたといった記事も信毎の紙面に載っておりました。大変痛ましく、防災や事故について改めて思いをはせると同時に、そこで名前が出ていた生徒会のメンバーがいずれも3月のグアム派遣に選ばれたメンバーの子達だったので、「みんな頑張ってくれているな」と少し勇気をもらったところです。

さて、今日は先日参加した次女の授業参観の話をさせていただこうと思います。

今年から軽井沢町は町内の3つの公立小学校で、小学5年生を対象に「表現とコミュニケーションの授業」というものを実施しているそうで、うちの娘も中部小の5年生ということで授業の様子を参観させていただきました。

「表現とコミュニケーションの授業」とは一体どんな内容なのか？と思って見に行ってみたのですが、おおざっぱにいうと、舞台演劇のワークショップ（演出）の手法を教育に応用したものでした。

子どもたちにいろいろな動きをさせて触れ合わせたいので、5～6人の班に分けて、各班に同じテーマを与えます。班ごとに話しあったうえで、テーマに沿った発表をし、それをみた残りの班がよかった点と修正した方がよい点をコメントしていくというものです。私がみたときは、セリフなしで「シンデ



レラ」を表現する、というテーマでした。シンデレラは、シンデレラや亡くなったお母さんやお父さん、意地悪な継母、義姉等6人以上の配役があるので、班ごとに知恵を出し合って、ある班は一人二役や三役をこなしてシンデレラを表現し、ある班は劇の一部分を切り取って演じるなど、打ち合わせの時間が短かったにも関わらず、よく考えられていて、班ごとに違いもあって大変面白かったです。セリフがなかったので、観ている側としては、最初しらゆき姫をやっているのかなと思うような班の中にはあったのですが、最後まで見てみるとどの班もちゃんとシンデレラとわかるようなレベルで表現ができていました。また、他の班からのコメントについても遠慮して当たり障りのないコメントをするのではなく、子供たちが本音をぶつけるなかなか白熱した内容となっており、きちんとコミュニケーションもとれていました。

正直、最初は表現やコミュニケーションまで授業で教えないといけないのか？といった気もしていたのですが、昔と違って同じテレビ番組や漫画をみて、みんなで「ごっこ遊び」をする機会が今の子どもにはないことからすると、通常の授業に加えて、たまにこういった授業をしてみるという試みは非常に有意義なものなんじゃないかなと思いました。

そのうえで、一番感銘を受けたのが時間の配分の仕方でした。2コマ続けて約1時間30分くらいの間のうち、前述した班ごとに話し合う時間は10～15分くらい、発表するのが1班につき2～3分で合計15分、コメントする時間も各班につき2分程度の10分くらいで、3つあわせても全体の半分にも満たない時間でした。

むしろ前半の45分以上を各班でのふれあい（同じ動きや相手の動きに合わせて動く等）に充てており、表現とコミュニケーションの前に子供達の関係性の構築に時間を割いていたことがとても印象的でした。十分な関係性があれば、その後の表現やコミュニケーションはかえって短縮できるということをお子達の姿から改めて学ばせてもらいました。

来年以降は、他の学年でも行っていくということですので、お子さんやお孫さん、親戚の子供が小中学校に通っておられる方は是非様子を聞いてもらおうとよいと思い、共有させていただきました。



《幹事報告》 幹事 佐藤敏明君

★ガバナー白鳥敬日瑚様、ガバナーエレクト小林磨史様より

2025-2026年度地区補助金申請について MOU（覚書）提出・1/31まで

★（公財）ロータリー米山記念奨学会より

2024-2025年度下期不通寄付金のお願い

★地区会計長 斎藤久徳様より 地区資金の件

下期 13,200円×1月1日付の会員数 お振込みのお願い

★通信物=①ハイライトよねやま 298号

②かるぼら1月号



《米山奨学金授与》

今井亮会長より ブウオントルンデイン君へ1月分授与

《出席報告》 委員長 金澤明美君

	会員数	本日出席	メイク	合計	出席率	訂正出席率
1月20日	35	24	0	25	68.57%	71.43%

事前メイク1



ニコニコBOX報告

小崎陽一郎君

1月20日
¥23,000

★山本さんの卓話楽しみにしております。長野県駅伝4連覇おめでとう！！

今井亮君、遠藤孝君、佐藤敏明君、大工原巧君、金澤明美君、小崎陽一郎君
佐藤学君、柳沢洋一君、小林俊二君、金山城太郎君、杵山恭弘君、尾沼好博君
古越道夫君、袖山卓也君、佐藤一郎君、上田直人君、中沢雅子君、福井英子君
長岡秀秋君、佐々木一郎君、丸山哲君



《卓話者ご紹介》プログラム委員長 大雲芳樹君
山本裕介様 Google社 ブランドマーケティング 統括部長

《 卓 話 》 山本裕介様

Google という会社と
その根幹となる考え方について



点鐘